

## 第6回 米子市美保中学校区義務教育学校開校準備委員会 教育環境部会議事録（概要）

- 1 日 時 令和7年12月18日（木）午後7時から午後8時30分まで  
2 場 所 米子市立和田小学校 図書館

3 出席者  
部会員

木村 俊二、松本 真奈美、三村 大輔、足羽 直美、太田 敦弘（部会長）、  
隠樹 恭衣、渡辺 和幸、西山 智広、本田 早弥香

説明のために出席した職員

【教育委員会事務局】

こども政策課長	永榮 一博
こども政策課長補佐兼指導主事	遠藤 幸子
こども政策課長補佐	井原 聡史
こども政策課担当課長補佐兼指導主事	近藤 泰知
こども支援課担当課長補佐	植田 典子
こども政策課係長	松下 貴洋

【こども総本部】

こども政策課担当課長補佐	國谷 建太
こども施設課保育リーダー	飯田 聡子
こども施設課子育て支援リーダー	松原 香里

【総合政策部】

交通政策課長	倉本 樹
--------	------

4 次 第

1) 開会

2) 部会長挨拶

3) 報告

①弓浜地区コミュニティバスの運行について（交通政策課）

②事業の進捗状況について（こども政策課）

③第11回開校準備委員会報告（太田部会長）

4) 事務局説明

①通学に関する検討の進め方について

②通学路の決定までの流れについて

5) 協議

①義務教育学校の通学について

・義務教育学校の通学路について（グループ協議）

・現地調査について

## 6) 連絡

次の開催予定

## 5 概要

### (1) 次第3) 報告 ①弓浜地区コミュニティバスの運行について (交通政策課)

- ・令和6年10月から実証運行を開始。利用者の意見を受けてルートの一部変更した結果、利便性が向上し利用者も増加傾向にある。
- ・本格運行の車両準備を進めており、令和7年度内には納車予定。
- ・本格運行では2台で両回り運行し、約30分間でどちらかのバスが来る形となる。
- ・中心市街地を走る「だんだんバス」と同じポンチョタイプの車両を導入し、スクールバスとしての活用も想定している。

### (2) 次第3) 報告 ②事業の進捗状況について (こども政策課)

- ・造成工事については、令和7年10月上旬に工事に着手。
- ・建築実施設計については、令和7年9月中旬に委託契約を締結。以降、設計業者と協議を進めている。

### (3) 次第3) 報告 ③第11回開校準備委員会報告 (太田部会長)

- ・校名候補案募集要項、校名候補選定要領、公募及び選定スケジュールについての協議を行った。
- ・第5回教育環境部会について、報告した。
- ・吉田アドバイザーから、鳥取市のバス通学の基準は3kmであり、美保中学校区の最大通学距離は2.8kmであることから、鳥取市の基準では全員徒歩通学となる。バス通学の対象者を決めていくには、子どもたちの発達段階に応じたものを取り入れることや、期限を設けることも考えられるとのことであった。また、子どもたちの健康状態や体力面など総合的に考えながら決めていただくことよいかとのアドバイスがあった。

### (4) 次第4) 事務局説明 ①通学に関する検討の進め方について

- ・バス通学については、徒歩通学における「安全面」「防犯面」「環境面」といった通学路の課題を抽出し、その解決方法を検討する過程でバスという支援策が必要な児童の範囲が明確になる。
- ・通学バスは徒歩通学が難しい場合の支援策であるため、今後は通学路の検討についても並行して行っていくこととする。

### (5) 次第4) 事務局説明 ②通学路の決定までの流れについて

- ・義務教育学校の通学路は既存校と手順が異なり、保護者・地域の役割を開校準備委員会(教育環境部会)が担い、学校の役割を教育委員会事務局が担う。

### (6) 次第5) 協議 ①義務教育学校の通学について 義務教育学校の通学路について (グループ協議)

- ・義務教育学校の通学路に係る事務局案について説明を行ない、これを基にグループ協議を行なった。

- ・事務局案に賛同する通学路もある一方で、現時点では判断が困難な箇所もあった。
- (7) 次第5) 協議 ①義務教育学校の通学について 現地調査について
- ・本日、検討した通学路について、「安全面」「防犯面」「環境面」の視点から設定した検討ポイントに照らし合わせながら現地調査を行なうことを確認した。